

吉野川

香川用水の
ふるさと



吉野川源流域を訪ねて

四国山脈の中央に発する一滴の水。

その一滴はやがて一条の流れとなり川となる、奔流をなし、吉野川となる。

険しい渓谷を刻みながら流れる吉野川の水は阿讃山脈を抜けて香川県にもたらされる。

その流れは、ただ自然の恵みとしてもたらされるものではない。

吉野川の水資源確保のために犠牲を払い、しかも日々、命の水を養う緑の山々を守り続けている人々の存在によって支えられているのである。

四国の水がめ早明浦ダムのある源流域の高知県嶺北地区(いの町・大川村・土佐町・本山町・大豊町)。

香川用水への分水地・池田ダムの位置する徳島県三好市池田町・山城町。

両地域の人々の努力と好意によって、香川用水は守られ、潤されているのである。

そのことを県民の一人一人は忘れてはならない。

【企画展】

香川用水記念公園(水の資料館1F企画展示室) 開館時間午前9:00~午後5:00

香川用水記念公園
KAGAWA YOUSUI COMMEMORATIVE PARK

入場無料

四国三郎の

宿命

日本の三大河川とされるのが板東太郎「利根川」、筑紫次郎「筑後川」、四国三郎「吉野川」。本州、九州、四国を代表する河川であると同時に、いずれも暴れ川だったためその名がついたといわれます。

特に吉野川は洪水時の水量が最も多く、全国一の暴れ川と呼ばれます。上流に日本有数の多雨地帯があるうえ、流域のほとんどが険しい山地で、降った雨が一気に流れやすくなるためです。さらに台風の進路が吉野川の流れとほとんど一致するため、上流に雨を降らせた台風が進みながら支流域にも雨を降らせ、氾濫を起こします。こうした宿命的理由が怒れる川にするのです。

3万人余が溺死した「寅の水」 史上最悪の洪水

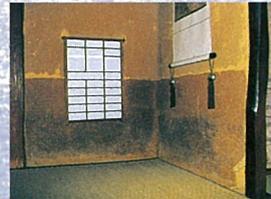
慶応2年(1866)寅の年8月に発生した大洪水では、藩内で2万8千人余が溺死したとの記録が残されており、別の資料(写真)は3万7千20人が溺死したと伝えています。未曾有の大被害であったと考えられます。



「寅の水」の被害を伝える過去帳(蔵珠院蔵)



山門横の石碑と標柱(徳島県国府町)



蔵珠院蔵に残されている洪水の痕跡

吉野川の

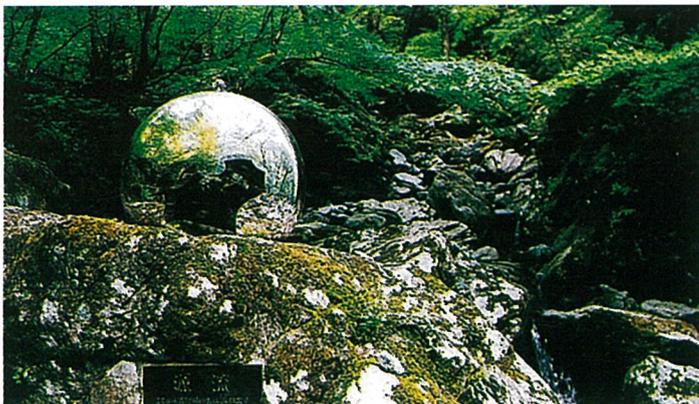
源流へ

わが国有数の大河川である吉野川は、その豊富な水量により四国四県を潤してきました。吉野川を上流にさかのぼると、その流れは遠く愛媛県と高知県の県境にそびえる瓶ヶ森(標高1,897m)にまで及びます。幹線流路延長194km、流域面積3,750km²に及び、四国の母なる河川として、私たちの生活、産業、文化を支えています。

源流域の森林は

吉野川は森林から生まれているのです。この森林には良質の水を安定的に供給する働きがあります。よく森林は緑の水がめであるといわれます。これは森林の土の中にあるたくさんのすきまが、スポンジのように多くの水を吸い込んで貯めることができるからです。森林では樹木が根を張っています。これらの木の根が伸びたり腐ったりするため、土の中にはたくさんのすきまができるわけです。この細長いトンネルのようなすきまは、かなり深く、しかも広範囲に張りめぐらされているため、たくさんの水を貯えることができます。ダム周辺の森林の保水力を高めたり、渇水時に水を安定的に確保するためにも、上流の森林整備が必要なのです。

緑の水がめ

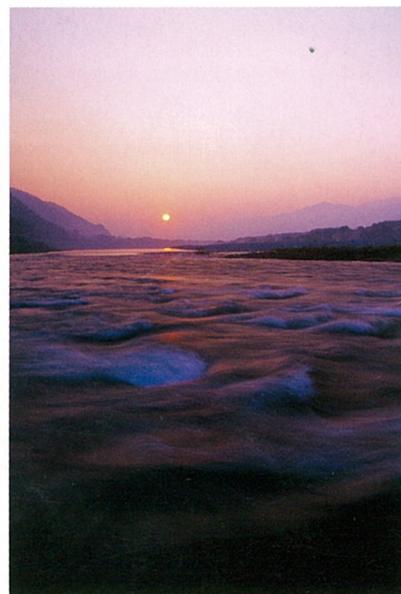


源流

母なる川

吉野川

吉野川の洪水に対し氾濫域に住む住民は家屋の浸水、流失を避けるため、数々の自衛策を講じた洪水遺産が数多く残っています。特に洪水遺産としてあげられる阿波藍は江戸時代から明治中期の徳島経済を支えました。そして吉野川を代表する渓谷美で知られる大歩危・小歩危、又各所で四季折々の自然が楽しめる景勝地も多く、吉野川の探訪はおいに川の恵みを感じることができます。



吉野川

●お問い合わせ先

かがわ水と緑の財団 香川用水記念公園
〒769-0402 香川県三豊市財田町財田中2355番地
TEL0875・67・3760 FAX0875・67・3757
<http://www.mizupark.com/>
e-mail info@mizupark.com